

2021 年度事業報告及び決算報告

(1) 2021 年度事業報告 (2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日)

[1] 健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携、企画・開発・調査等の支援、普及・啓発に係る事業

① 16 回健康都市連合日本支部総会・大会

日時：2021 年 7 月 15 日 (木) ～7 月 16 日 (金)

会場：大阪府泉佐野市 エブノ泉の森ホール

主催：健康都市連合日本支部、泉佐野市

主管：第 16 回健康都市連合日本支部総会・大会実行委員会

報告：

- 総会：新型コロナウイルス感染防止の観点から書面による開催となった。
- 大会：新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。

② 第 9 回健康都市連合総会・国際大会

日時：2021 年 11 月 3 日 (水) ～11 月 5 日 (金)

会場：香港

主催：健康都市連合中国香港支部

報告：

- 総会：新型コロナウイルス感染防止の観点から書面による開催となった。
- 大会：新型コロナウイルス感染防止の観点からオンラインでの開催となった。

③ 健康都市連合日本支部加盟促進

報告：

- 機関誌「ヘルシーパートナーズ 10 号」(11 月発行)に「健康都市連合日本支部のご案内」を掲載し約 600 の地方自治体首長宛てに送付するとともに、機構 Web サイトにアップした。
- 市川市村越元市長の紹介により、岡山県総社市に加盟案内を行ったところ、加盟の方向で検討中。

④ 日本支部との協働

報告：

- 千葉理事長が本郷谷松戸市長 (日本支部長)、櫻井亀山市長 (日本支部副部長)、千代松泉佐野市長、池澤西東京市長と面会し、打ち合わせるとともに機関誌「ヘルシーパートナーズ 10 号」の紙面对談を行った。

⑤ データヘルス事業

- 2020年度の自治体向けアンケート及びヒアリングの結果に基づき、市民の保健医療福祉情報を電子化し、自治体職員の健康業務と市民の健康生活を支援するオンラインで効果的に連携させ運用する仕組みづくり「次世代電子健康手帳サービス」を検討して概要をまとめた。特徴としては、政府が推進する自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画と連動した全国標準による社会基盤の活用を重視している。
- 「次世代電子健康手帳サービス」実証モデル検討プロジェクト参加の提案及び質疑を行った。(泉佐野市長、担当部署職員)

実施日：2021年11月4日～2022年4月19日(10回)

報告：データヘルス事業の意義と効果(マイナポータルとの連携、標準的なシステムにより効率的かつ安価に運用できること等)について、自治体担当者と共通認識を持つことができた。

⑥ ヘルシーパートナーズ事業

A. 市川市

- 「健康と多文化共生に関するパネル展」向けに、過去3年間の「健康フェスタ」(主催：市川市健康推進員会 協力：健康都市活動支援機構)をビデオ作品にして提供した。会場では、千葉理事長が健康都市推進員や村越市長との座談会を行った。

開催日・場所：2022年3月7日(月)～18日(金)市役所1階ファンクションルーム

報告：健康都市推進員会の活動を広く市民に訴求することができた。

B. 鎌ヶ谷市

報告：新型コロナウイルス感染防止の観点から計画段階で中止となった。

C. 松戸市

報告：新型コロナウイルス感染防止の観点から計画段階で中止となった。

D. 西東京市

- 市民のウォーキング習慣定着を目的とする月間イベント「あるチャレ」とウォーキングイベント「『あるこ』で街なかウォーキング」を協賛した。

※「あるこ」：スマホ向け健康ポイントアプリ

開催日：「あるチャレ」開催日：2011年10月1日(金)～10月31日(日)

「『あるこ』で街なかウォーキング」：2011年10月30日(土)

報告：「あるチャレ」：アプリの登録者：3,230名

「『あるこ』で街なかウォーキング」：参加者400名

幅広い市民参加のもと、健康意識と健康習慣を高めることができた。本事業に対して、同市より感謝状を受領した。

E. 第29回MOA美術館所沢児童作品展の協賛

報告：3名の児童に「みんなの健康都市賞」を授与した。展覧会・表彰式は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。

[2] 健康の推進に係る講習会・セミナー等の開催、印刷物・出版物等の編集・発行、Web サイト等の作成による情報の公開に係る事業

① 機関誌ヘルシーパートナーズの発行

- 「09号」2021年6月30日 発行部数：1,500
 - ・巻頭インタビュー：「保健所の機能と課題」波川京子氏（川崎医療福祉大学特任教授）
 - ・特集：柏プロジェクトから学ぶ地域保活ケアのまちづくり
鼎談：辻哲夫氏×秋山裕保氏×千葉光行
- 「10号」2021年11月30日 発行部数：1,500
 - ・特集：ニューノーマル時代のリーダーシップ
鼎談：本郷谷健次氏×二宮清純氏×千葉光行
トップインタビュー：櫻井義之氏、千代松大耕氏、池澤隆史氏
- 「11号」2022年3月31日 発行部数：1,500
 - ・特集：AI（人工知能）と健康まちづくり ～医療・福祉の現場から～
取材：岡本茂雄氏、鹿野佑介氏、大山慎太郎氏
講演録：葛西健氏（WHO 西太平洋地域事務局長）、西信雄氏（国立栄養研究所）

報告：以下の目的を推進することができた。

- 新たな機構のイメージづくり
新規「医療福祉施設整備支援事業」と「データヘルス事業」によるソリューションを幅広く発信し、WHOの健康都市にソフト（ひとづくり）とハード（まちづくり）の両面で貢献する新たな機構のイメージを形成した。
- 新規事業のプロモーション
取材先や寄稿先、配布先を通じて「医療福祉施設整備支援事業」並びに「データヘルス事業」の営業開発につなげた。
- 法人及び個人協力会員の維持・獲得
健康都市を核とするSDGsへの取組みで読者の社会的共感を獲得し、法人及び個人協力会員の維持・獲得につなげた。

② ホームページ維持更新

A. 公式Webサイト (<https://www.ngo-hcso.org>)

報告：機構の基本情報（設立趣旨、役員構成、財務状況等）を更新した。

B. ヘルシーパートナーズWebサイト (<https://www.healthy-partners.com>)

報告：ヘルシーパートナーズ事業、行政、企業による市民の健康づくりの取組みを更新し、機関誌ヘルシーパートナーズのコンテンツを全面掲載した。

C. 医療福祉施設整備支援Webサイト (<https://www.healthycity.jp>)

報告：事業の目的、内容、実績を更新し、情報発信するとともに営業開発につなげた。

[3] 医療及び福祉施設等の施設整備並びにその運営を効率的かつコスト抑制の見地から支援するとともに、その手法の調査・研究・普及・啓蒙に係る事業

① アイテム企画・制作

報告：実績集等の制作については見送りとなった。

② ミニセミナー開催

報告：新型コロナウイルス感染防止の観点から計画段階で中止になった。

③ 整備支援事業

公立及び民間病院の計画から開院までのCM業務を行い、医療供給体制の再編をはじめ経営危機の脱却や施設の機能不全の改善を支援した。

A. 公立置賜長井病院

報告：2022年5月9日に無事開院した。（設計：株式会社大建設計、施工：戸田建設株式会社）発注者の立場で適切なアドバイスを行い、感謝状を受理した。

B. 三豊市立みとよ市民病院

報告：2022年5月9日にグランドオープンした。（設計：石本建築事務所、施工：大成建設株式会社）発注者の立場で適切なアドバイスを行い、感謝状を受理した。

C. 白老町立国民健康保険病院

報告：基本設計からのDB（デザインビルド）で、病院支援事業の第一号として受託。2022年1月に設計・施工優先交渉権者（株式会社久米設計・株式会社フジタJV）を決め、DB基本設計を実施中。2024年5月の開院を目指している。

D. 独立行政法人玉野医療センター

報告：2022年3月にプロポーザルを実施。ECI発注（設計：久米設計）で2022年3月にプロポーザルを実施。（施工優先交渉権者：戸田建設株式会社・株式会社荒木組・玉野土建株式会社JV）請負契約に向けてVE等検討確認中。2025年1月の開院を目指している。

E. その他（民間病院）

報告：社会医療法人松藤会入江病院（兵庫県姫路市）と医療法人純和会美園フォレストクリニック（愛知県刈谷市）とのCM契約を締結。

[4] 健康の推進に係る国際交流・協力・支援に係る事業

JICA 草の根技術協力事業

申請内容

対象国：モンゴル（ウランバートル市チンゲルテイ地区）

事業名：二つのモデル公立学校を対象にした学校歯科検診の仕組みづくりプロジェクト

事業内容：二つのモデル校を対象にして学校歯科検診の適切な管理運営の体制を確立

- (1) 学校歯科検診票、集計表、学校歯科検診実施マニュアルの作成
- (2) 学校歯科医師、記録係に対する学校歯科検診の実施と研修指導
- (3) 集計結果を関係者間で共有し「口腔ケア」の全体像を把握して学校保健活動への道筋を検討

実施期間：2022年5月～2025年4月（3年間）

事業費概算額：9,888,000円

報告：本事業は、2019年8月に同国チンゲルテイ区長からの要請に基づき市川市歯科医師会の協力で理事長他4名から成る現地調査団を派遣したことがきっかけ。

調査結果を踏まえて提案書を作成し、2020年11月末にJICAの草の根技術協力事業に採択された。

本年度は提案書の3か年間活動目標とその内容を精査し、実施経費の詳細等をモンゴル側とオンライン会議を通じて取りまとめ、2021年12月に三者間合意書（JICAモンゴル事務所長、チンゲルテイ区長と当機構理事長）を締結。2022年度5月にJICAと契約を締結し、同月から事業を実施することとなった。

(2) 2021 年度決算報告

①事業の実施に関する事項

(2) 2021 年度決算報告 (2021年4月1日～2022年3月31日)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：千円)	
						支出	収入
[1] 健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携、企画・開発・調査等の支援、普及・啓発に係る事業	①健康都市連合日本支部総会・大会	中止	泉佐野市	7名	健康都市連合加盟自治体	0	0
	②健康都市連合国際大会	11月3日(水)～11月5日(金) オンライン	香港	1名	加盟自治体候補職員	9	0
	③日本支部加盟促進	通年	加盟自治体	2名	加盟自治体職員	73	0
	④日本支部との協働					0	0
	⑤データヘルス事業	通年	加盟自治体を中心とする全国自治体	2名	加盟自治体を中心とする全国自治体職員	50	0
	⑥ヘルシーパートナーズ事業	通年	市川市 鎌ヶ谷市 松戸市 西東京市 MOA所沢児童絵画展	5名	行政担当者、市民、大学教授、学生	485	0
	共通経費					2,614	
[1] の計						3,231	0
[2] 健康の推進に係る講習会・セミナー等の開催、印刷物・出版物等の編集・発行、Webサイト等の作成による情報の公開に係る事業	①機関誌ヘルシーパートナーズ	年3回	自治体	2名	行政担当者、市民、大学教授、学生、企業担当者	2,845	1,276
	②ホームページ維持・更新	通年	機構事務局	1名	行政担当者、市民、大学教授、学生、企業担当者	279	0
	共通経費					3,121	0
[2] の計						6,245	1,276

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (単位：千円)	
						支出	収入
[3] 医療及び福祉施設等の施設整備並びにその運営を効率的かつコスト抑制の見地から支援する事業及びその手法の調査・研究・普及啓蒙に係る事業	① アイテム企画・制作	都度	機構事務局	4名	自治体担当者、病院担当者	53	0
	② ミニセミナー開催	未実施	機構事務局	2名	自治体担当者、病院担当者	0	0
	③ 整備支援事業					32,632	57,534
	共通経費					1,469	0
[3] の計						34,154	57,534
[4] 健康の推進に係る国際交流・協力・支援に係る事業	① JICA 草の根技術移転協力事業の現地調査及び申請	未実施	モンゴル ウランバートル市	5名	モンゴル ウランバートル市職員、市民	41	0
	共通経費					2,498	0
[4] の計						2,539	0
[5] その他、この法人の目的を達成するために必要な一切の事業						0	0
	[5] の計						0
合計						合計 46,169	合計 58,810

② 活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

科目		金額 (単位:円)	
I 経常収益			
1	受取会費		
	法人正会員入会金	0	
	法人正会員受取会費	40,000	
	法人協力会員受取会費	5,250,000	
	個人協力会員受取会費	384,000	5,674,000
2	受取寄附金		
	受取寄附金	8,000,000	8,000,000
3	受取助成金		
	[2]健康の推進に関する支援、協力及び企画に係る事業		0
4	事業収益		
	[1] 健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携、企画・開発・調査等の支援、普及・啓発に係る事業	0	
	[2] 健康の推進に係る講習会・セミナー等の開催、印刷物・出版物等の編集・発行、Webサイト等の作成による情報の公開に係る事業	1,276,000	
	[3] 医療及び福祉施設等の施設整備並びにその運営を効率的かつコスト抑制の見地から支援する事業及びその手法の調査・研究・普及啓蒙に係る事業	57,534,000	
	[4] 健康の推進に係る国際交流・協力・支援に係る事業	0	
	[5] その他、この法人の目的を達成するために必要な一切の事業	0	58,810,000
5	その他収益		
	受取利息	260	
	雑収益	82,923	83,183
	経常収益計		72,567,183
II 経常費用			
1	事業費		
	① 人件費		
	役員報酬	6,318,000	
	給料手当	12,794,533	
	外注費	9,523,481	
	人件費計		28,636,014
	② 事業費内訳		
	健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携、企画・開発・調査等の支援、普及・啓発に係る事業	1,268,933	
	健康の推進に係る講習会・セミナー等の開催、印刷物・出版物等の編集・発行、Webサイト等の作成による情報の公開に係る事業	4,282,576	
	医療及び福祉施設等の施設整備並びにその運営を効率的かつコスト抑制の見地から支援する事業及びその手法の調査・研究・普及啓蒙に係る事業	11,415,877	
	健康の推進に係る国際交流・協力・支援に係る事業	566,087	
	その他、この法人の目的を達成するために必要な一切の事業	0	
	事業費計	17,533,473	
	事業費計		46,169,487

科目		金額 (単位: 円)	
2	管理費		
①	人件費		
	役員報酬	2,400,000	
	給料手当	2,439,476	
	人件費計	4,839,476	
②	その他経費		
	印刷製本費	384,814	
	会議費	198,272	
	旅費交通費	1,388,009	
	通信運搬費	367,315	
	消耗品費	141,509	
	水道光熱費	30,538	
	地代家賃	3,029,856	
	交際費	0	
	減価償却費	14,565	
	諸会費	4,875	
	修繕費	0	
	リース料	136,604	
	租税公課	4,388	
	支払手数料	29,494	
	雑費	187,558	
	その他経費計	5,917,797	
	管理費計		10,757,273
	経常費用計		56,926,760
	当期経常増減額		15,640,423
III	経常外収益		
1.	事業費 固定資産売却益	0	
			0
	経常外収益計		0
IV	経常外費用		
1.	事業費 過年度損益修正損	0	
	固定資産売却益除却損	1	
			1
	経常外費用計		1
	税引前当期正味財産増減額		15,640,422
	法人税、住民税及び事業税		140,000
	当期正味財産増減額		15,500,422
	前期繰越正味財産額		65,446,588
	次期繰越正味財産額		80,947,010
※当期 (2021年4月1日から2022年3月31日) において、その他の事業は実施しなかった。			

③ 事業別損益の状況

事業別損益の状況

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業					合計
	[1] 健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携、企画・開発・調査等の支援、普及・啓発に係る事業	[2] 健康の推進に係る講習会・セミナー等の開催、印刷物・出版物等の編集・発行、Webサイト等の作成による情報の公開に係る事業	[3] 医療及び福祉施設の施設整備並びにその運営を効率的かつコスト抑制の見地から支援する事業及びその手法の調査・研究・普及啓蒙に係る事業	[4] 健康の推進に係る国際交流・協力・支援に係る事業	[5] その他、この法人の目的を達成するために必要な一切の事業	
I 経常収益						
受取助成金	0	0	0	0	0	0
事業収益		1,276,000	57,534,000			58,810,000
経常収益計	0	1,276,000	57,534,000	0	0	58,810,000
II 経常費用						
(人件費)	1,962,165	1,962,165	22,738,269	1,973,415	0	28,636,014
人件費計	1,962,165	1,962,165	22,738,269	1,973,415	0	28,636,014
(その他経費)						
事業 支出						
諸謝金	0	200,055	0	0	0	200,055
印刷製本費	52,787	2,150,430	547,089	40,678	0	2,790,984
会議費	0	27,000	974,270	9,364	0	1,010,634
交際費	0	143,077	24,930	0	0	168,007
旅費交通費	132,138	286,498	3,875,226	113,377	0	4,407,239
通信運搬費	21,081	531,422	168,073	22,196	0	742,772
消耗品費	50,557	44,661	662,440	18,162	0	775,820
水道光熱費	4,987	9,638	52,712	3,919	0	71,256
地代家賃	396,782	766,861	4,194,167	311,854	0	5,669,664
減価償却費	2,379	4,597	25,141	1,869	0	33,986
保険料	0	0	0	0	0	0
諸会費	72,185	0	0	0	0	72,185
リース料	22,306	43,112	235,792	17,532	0	318,742
租税公課	0	0	24,000	0	0	24,000
支払手数料	4,576	3,740	45,567	1,364	0	55,247
雑費	509,155	71,485	586,470	25,772	0	1,192,882
その他経費計	1,268,933	4,282,576	11,415,877	566,087	0	17,533,473
合計	3,231,098	6,244,741	34,154,146	2,539,502	0	46,169,487
経常費用差引▲	▲ 3,231,098	▲ 4,968,741	23,379,854	▲ 2,539,502	0	12,640,513

貸借対照表

2022年3月31日現在

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	32,950,105		
未収金	27,500,000		
前払費用	674,960		
立替金	1,073		
流動資産合計		61,126,138	
2 固定資産			
[1] 有形固定資産			
一括償却資産	145,655		
減価償却累計額	▲ 97,102		
有形固定資産計	48,553		
[2] 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
[3] 投資その他の資産			
敷金	10,590,400		
特定資産	10,000,000		
投資その他の資産計	20,590,400		
固定資産合計		20,638,953	
資産合計			81,765,091
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
旅費交通費	8		
預り金			
源泉所得税	678,073		
未払法人税等			
未払法人税	140,000		
流動負債合計		818,081	
2 固定負債			
長期借入金		0	
固定負債合計		0	
負債合計			818,081
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		65,446,588	
当期正味財産増減額		15,500,422	
正味財産合計			80,947,010
負債及び正味財産合計			81,765,091

注記事項：[3]投資その他の資産に計上されている特定資産は健康な都市づくりに関する支援事業に関する積立金であります。
 同上の源泉は普通預金であります。

① 財産目録

2022年3月31現在

科目	金額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	340,631		
三菱東京UFJ銀行 普通預金	7,165,596		
みずほ銀行 普通預金	25,443,877		
ゆうちょ銀行 普通預金	1		
売上債権			
未収金	27,500,000		
その他流動資産			
前払費用 4月分家賃等	674,960		
立替金 2月分健康保険	1,073		
流動資産合計		61,126,138	
2 固定資産			
[1] 有形固定資産			
一括償却資産 液晶プロジェクタ	145,655		
減価償却累計額	▲ 97,102		
有形固定資産計	48,553		
[2] 無形固定資産	0		
無形固定資産計	0		
[3] 投資その他の資産			
敷金 従たる事務所	10,590,400		
特定資産(健康な都市づくりに関する (支援事業積立金:みずほ銀行普通預金))	10,000,000		
投資その他の資産計	20,590,400		
固定資産合計		20,638,953	
資産合計			81,765,091
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
旅費交通費 3月分通勤費(半年定期調整額)	8		
預り金			
源泉所得税	678,073		
未払法人税等			
未払法人税	140,000		
流動負債合計		818,081	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			818,081
正味財産合計			80,947,010

⑥監査報告書

特定非営利活動法人 健康都市活動支援機構
理事長 千葉 光行様

監査報告書

特定非営利活動法人健康都市活動支援機構の2021年度（令和3年度）における会計及び会計以外の業務を監査した結果、適正に処理されていることを確認し報告する。

2022年（令和4年）5月9日

特定非営利活動法人健康都市活動支援機構

監事 桜井 美佐

